

委託事業作成ページの注意点

1 セキュリティ対応

- (1) クロスサイトスクリプティング、SQL インジェクション、改ざん等のサイバー攻撃への対策のため、サーバ、Web コンテンツ等のセキュリティ対策を施すこと。
- (2) 利用している機器又はソフトウェアについて、バージョンアップ又はセキュリティパッチファイルが提供された場合、内容を確認し適切に対応すること。
- (3) CGI や PHP 等のサーバ側で動作するコンテンツは設けないこと。
- (4) Web ページの作成にあたり jquery 等の外部ライブラリを使用する場合、セキュリティの脆弱性がないものを使用すること（令和 6 年 4 月時点において、jquery ライブラリを使用する場合は、バージョン 3.5.0 以上のものを使用すること。）。
- (5) Web ページの公開後において、当該ページにセキュリティの脆弱性が発見された場合は、契約期間内であるか否かを問わず、速やかに修正等の対応を行うこと。

2 スマートフォン対応

スマートフォン（Android、iOS）で表示した場合にも、レイアウトが適切に表示される対応ができるページ（レスポンス Web デザイン）とすること。なお、スマートフォン表示対応については、CSS 又は JavaScript により実現すること。

3 Web アクセシビリティ対応

Web アクセシビリティを確保した Web ページの作成に努めること。特に、JIS X 8341-3 :2016「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第 3 部：ウェブコンテンツ」の適合レベル A 及び AA に極力準拠するように作成すること。

Web アクセシビリティの確認は、総務省が提供するアクセシビリティ評価ツール「みんなのアクセシビリティ評価ツール：miChecker（エムアイチェッカー）Ver.3.0」を利用し、少なくとも「問題あり」がないようにすること。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/michecker.html

4 HTML、CSS 等のチェック

HTML の仕様は、WHATWG(Web Hypertext Application Technology Working Group)が策定した HTML Living Standard に準拠すること。

次のチェックサイト又はチェックツールで、文法等のチェックを行い、エラーがないように確認するとともに、Google Chrome、Safari 及び Firefox にて表示上の不具合がないか確認をすること（HTML 及び CSS のチェックサイトは別のものでも可）。

<HTML の文法チェックサイト>

<https://validator.w3.org/nu/>

上記文法チェックサイトで「Error」が出ないように、「Warning」については極力なくすように Web ページを作成すること。

<CSS のチェックサイト>

<https://jigsaw.w3.org/css-validator/>

上記文法チェックサイトで「エラー」及び「警告」を極力なくすように Web ページを作成すること。

<Web アクセシビリティチェックツール miChecker Ver.3.0（総務省提供）>

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/michecker.html

上記のチェックツールの「音声ユーザビリティ」及び「ロービジョン」のチェック項目について、「問題あり」が出ないように、その他「問題の可能性大」等については極力なくすように Web ページを作成すること。

5 全体ファイルサイズ

各所属に割り当てている Web ページのディスク容量は、本番環境と検証環境合わせて 1,000MB であるため、作成する Web ページ全体のファイルサイズの合計は 500MB 以内とすること。

なお、このファイルサイズには、HTML ファイルの他、画像ファイルや CSS ファイル等のすべてのファイルを含める。

6 1 ページあたりのファイルサイズ

Web ページの 1 ページあたりのファイルサイズは、10MB 以内とすること。

なお、このファイルサイズには、HTML ファイルの他、画像ファイルや CSS ファイル等のすべてのファイルを含める。

7 画像ファイルのサイズ

Web ページで画像ファイルを使用する場合、画像ファイルのサイズは 500KB 以内とすること。

8 ファイル名に使用する文字

Web ページを構成する各ファイルのファイル名には、半角英数文字及びファイル名として使用できる記号のみ使用すること。

9 動画ファイルの設置の禁止

動画を県のサーバに設置すると通信帯域を圧迫するため、動画を公開する場合は、YouTube 等の外部サービスに掲載し、Web ページにはその外部サービスへのリンクを張るようにすること。

10 Google アナリティクスタグ設置

作成した Web ページへのアクセス件数を集計するため、次のとおり Google アナリティクスのタグを各 Web ページの head タグ内に設置すること。

【埋め込むタグ】

```
<!-- Google tag (gtag.js) -->
<script async src="https://www.googletagmanager.com/gtag/js?id=G-NBYG67KKXX"></script>
<script>
  window.dataLayer = window.dataLayer || [];
  function gtag() {dataLayer.push(arguments);}
  gtag('js', new Date());

  gtag('config', 'G-NBYG67KKXX');
</script>
```

【例】

```
<head>
<!-- Google tag (gtag.js) -->
<script async src="https://www.googletagmanager.com/gtag/js?id=G-NBYG67KKXX"></script>
<script>
  window.dataLayer = window.dataLayer || [];
  function gtag() {dataLayer.push(arguments);}
  gtag('js', new Date());

  gtag('config', 'G-NBYG67KKXX');
</script>
<!-- 他の head タグの内容 -->
</head>
```

埋め込んだ部分